

家族イノベーション

FAMILY OF THE NEW ERA
2021 VOLUME 1

Public
Meets
Innovation

昭和平成の
家族モデルを
超えた
多様な幸せを
支える社会のかたち

PMI

The background of the slide features a scenic landscape of rolling mountain ranges under a clear blue sky. A faint rainbow is visible in the upper right corner of the sky. The mountains are layered, creating a sense of depth, with the foreground mountains in a darker blue and the distant ones fading into a lighter blue.

家族イノベーション

FAMILY INNOVATION

家族

その言葉を聞いたとき、みなさんはどんなイメージを思い浮かべるだろうか

結婚しても苗字を変えたくない

FAMILY 結婚したくないけど
子供は欲しい。

離れて暮らす親が心配、
だけど仕事はやめたくない

これってわがまま？

子育てはいい年して独身だと family

信用できないって言われた

無理ゲー

意味のない

婚姻生活をダラダラ続けてる

っておかしい？

同棲の恋人

なぜネガティブな意見が多いのか？



Answer

**社会が変わり、家族でいるための
価値観や制度にギャップが生じてきたから。**

A family of four is walking through a field of tall grass at dusk. A woman in a red floral dress and a tan hat is holding the hand of a man in a denim jacket who is carrying a baby in a yellow outfit. A young boy is walking ahead of them. In the background, there are trees and a string of warm white lights.

GAP 1

**昔ながらの家族では
もう支え合いができなくなっている**

昭和55年と現在を比較すると…

共働き世帯が約2倍、
専業主婦は2/3まで減少。

一人暮らしが大幅に増加。
三世代世帯が40%減少。

「ひとり親世帯」と
「高齢者の単独世帯」で
貧困が顕著化。

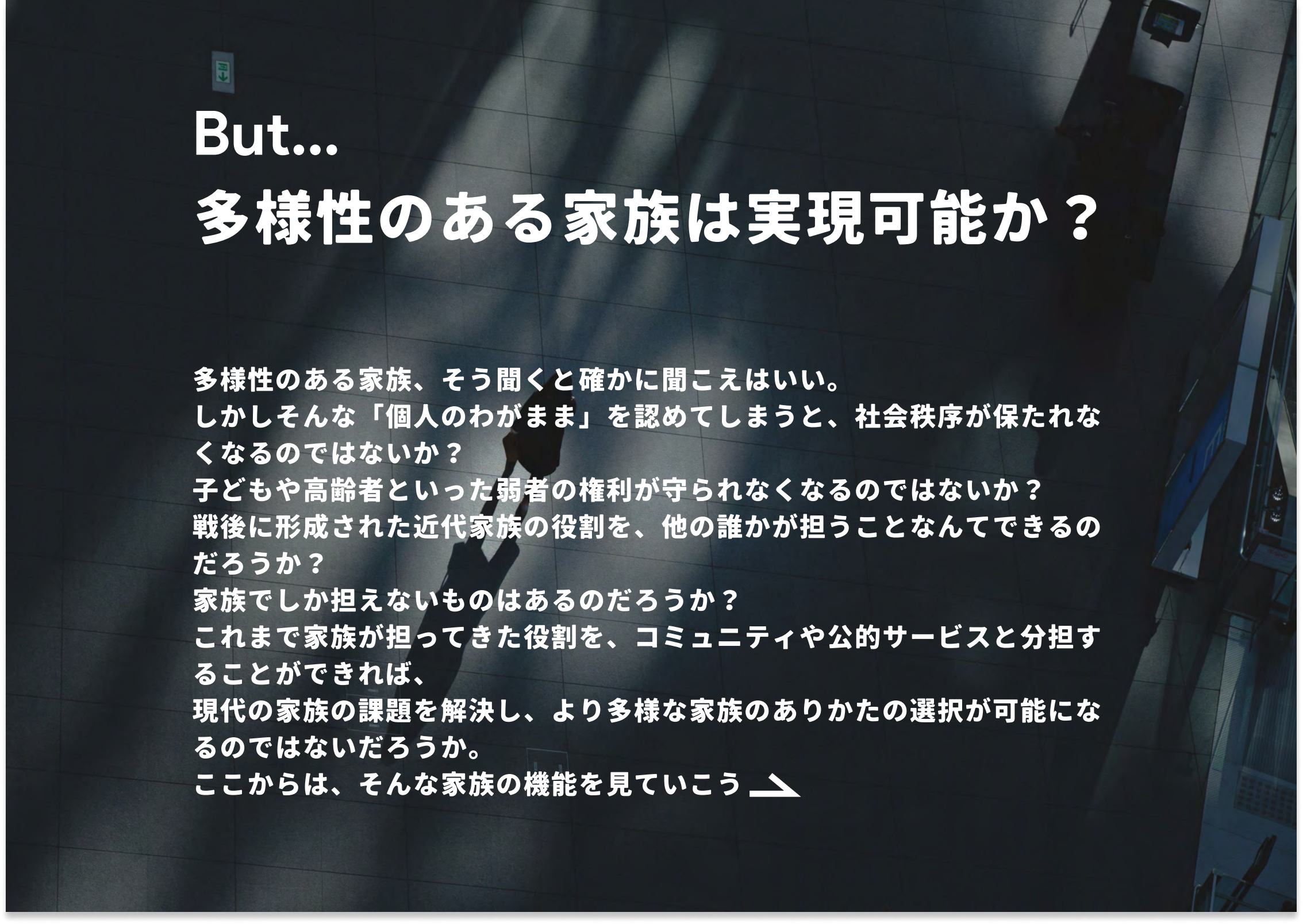
GAP 2

家族への考え方がより柔軟になっている

株式会社 LGBT 総合研究所が2019年4月から5月にかけて、
全国20歳から69歳の個人42万8,036名を対象に調査をした、
「LGBT意識行動調査2019」。

同研究所の調査によると、LGBT・性的少数者は
全体の約10.0%という結果が示唆された。

“ 100人いれば
100通りの家族があっても
いいんじゃない？ ”



But...

多様性のある家族は実現可能か？

多様性のある家族、そう聞くと確かに聞こえはいい。

しかしそんな「個人のわがまま」を認めてしまうと、社会秩序が保たれなくなるのではないかな？

子どもや高齢者といった弱者の権利が守られなくなるのではないかな？

戦後に形成された近代家族の役割を、他の誰かが担うことなんてできるのだろうか？

家族でしか担えないものはあるのだろうか？

これまで家族が担ってきた役割を、コミュニティや公的サービスと分担することができれば、

現代の家族の課題を解決し、より多様な家族のありかたの選択が可能になるのではないだろうか。

ここからは、そんな家族の機能を見ていこう ➤

家族が担ってきた9つの機能

性的機能

夫婦の絆、親子関係、責任の明確化



生殖機能

子孫の繁栄
子供を残す



扶養機能

育児や介護
乳幼児、障害者のケア



経済的機能

生産と消費
労働力の提供



保護機能

生命・財産の保護
社会的弱者の支援



教育機能

子供に
教育をほどこす



宗教的機能

宗教や文化
倫理規範の継承



娯楽機能

余暇を楽しむ
精神的なよりどころ



ステータス付 与機能

財産の相続
社会的地位の継承



出典
精神看護学I
精神保健学
をもとにPMI作成

家族が担ってきた9つの機能は今

大きな**転換期**を迎えている

1. 性的機能

かつては...

男女間の1対1の関係を基盤にすることで、
安定した家族関係と
再生産を実現してきた。



現在は...

- ✔ 「一対一の男女」に限定しない様々な
家族のあり方が認知され始めている
- ✔ 社会情勢の変化により
パートナーのいない親も増加している



2. 生殖機能

かつては...

妊娠・出産と結婚は同一視され、家族こそが「子供を産む受け皿」という認識が広く共有されていた。



現在は...



結婚しても子供を持たない夫婦、事実婚の夫婦などさまざまな形が認知され始めている。



諸外国に比べると低いものの非嫡出子の割合も増加している。

3. 扶養機能

かつては...

自立の難しい人々、
幼い子どもや高齢者、障害者のケアは
家族の役割とされてきた。



現在は...



家族内における介護やケアの担い手が減少し、
担い手の負担が増している



健康寿命に比べて平均寿命が
大幅に延びたことによって、
高齢者の介護の負担が重くなりつつある



4. 経済的機能

かつては...

家族は生活共同体として、共同で生産・消費活動を行った。生産は農業や工業、家業が中心で、性別による役割分担が強かった。



現在は...



共働きが一般化するとともに、消費単位が家族から個人に変化した。



外食産業や家事サービスの拡大で、家庭内労働のアウトソースが増加している。

5. 保護機能

かつては...

家に常駐している人がいて
家族単位でメンバーの安全や
財産を守ることが多かった。



現在は...



銀行や保管サービス、電子化等により
財産を家で管理する必要性が薄れている



通勤・通学圏の長時間化やモビリティの
向上によって移動範囲が拡大しており、
日中は誰もいない家が数多くみられる

6.教育機能

かつては...

学校に依存しつつ、家庭も教育の重要な場として機能していた。保護者の価値観や経済力、家業など家庭環境に負う部分も大きかった。



現在は...



家族で過ごす時間が減少し、
家庭内での教育が難しくなっている。



変化のスピードが加速化し、親の能力と子供との間の価値観やニーズのギャップが拡大している。

7. 宗教機能

かつては...

家族を通じて日本における
伝統的な文化や行事、価値観を
継承してきた。

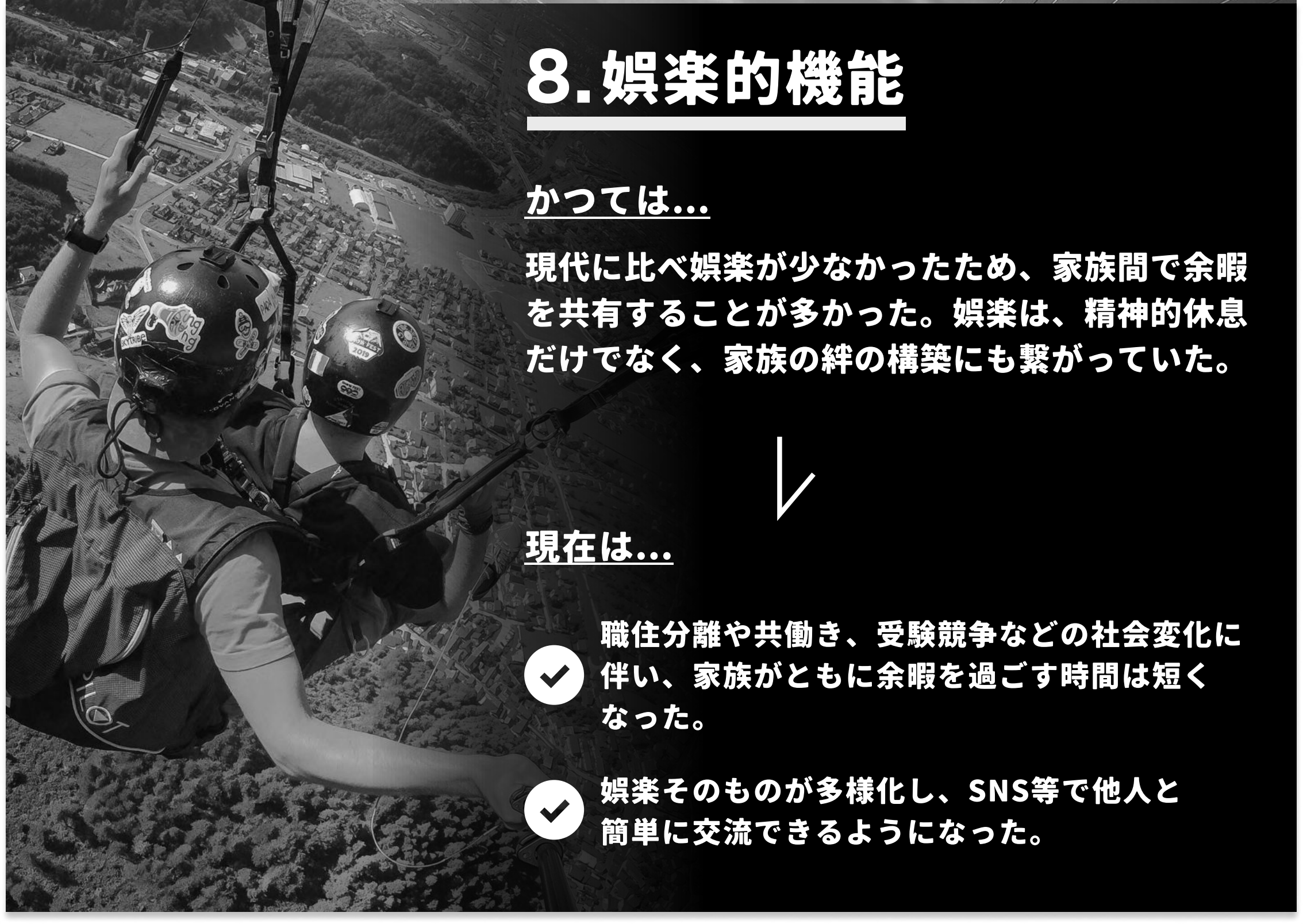
現在は...



家制度への意識が薄れるとともに、
家族を基礎とした宗教観は弱まっている



さまざまな文化に触れる機会が増え、
その地域や家庭に伝わる伝統、文化は
急速に衰退し始めている



8. 娯乐的機能

かつては...

現代に比べ娯楽が少なかったため、家族間で余暇を共有することが多かった。娯楽は、精神的休息だけでなく、家族の絆の構築にも繋がっていた。



現在は...



職住分離や共働き、受験競争などの社会変化に伴い、家族がともに余暇を過ごす時間は短くなった。



娯楽そのものが多様化し、SNS等で他人と簡単に交流できるようになった。

9. ステータス付与機能

かつては...

親の階級や財産、価値観などは
家族のなかで、親から子に引き継がれる
ことが多かった。



現在は...



選択肢が増えたことで家業を継ぐ人がおらず、
廃業する家も増えてきている。



技術変革や社会変化のスピードが
速まったことにより、親世代がロールモデルとして
機能しなくなっている。

性的機能 夫婦の絆、親子関係、責任の明確化 	生殖機能 子孫の繁栄 子供を残す 	扶養機能 育児や介護 乳幼児、障害者のケア 	経済的機能 生産と消費 労働力の提供 	保護機能 生命・財産の保護 社会的弱者の支援 
教育機能 子供に 教育をほどこす 	宗教的機能 宗教や文化 倫理規範の継承 	娯楽機能 余暇を楽しむ 精神的なよりどころ 	ステータス付与機能 財産の相続 社会的地位の継承 	出典 精神看護学I 精神保健学 をもとにPMI作成

今までは人生に必要なこれら9つの機能を
全て家族が担ってきた。

しかし...

- ✔ 家族だけでは担いきれなくなっている
- ✔ 家族だけが担うべきではなくなっている
- ✔ 家族だけで担う必要がなくなっている

なので...

「この設定そのものを見直す必要がある」

社会情勢の変化に伴って、
家族の役割は変わってきていた。

しかし、現代を取りまくルールや価値観は、
それに合わせて変わってきたのだろうか。

「**しあわせの象徴としての家族**」に縛られてしまうことによって、
かえって苦しむ人が生まれてしまっているのが現状ではないだろうか。



幸福が多様化した今の時代、
それぞれが選択する家族のかたちを、

優劣なくフラットに認め合う社会が必要？

Question:

それぞれが選択する家族のかたちを、
優劣なくフラットに認め合う社会。

そのために私たちは何を変えていかなければならないのだろう？

これからの家族をひもとくための



つの視点

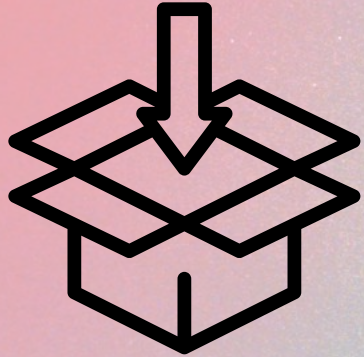




社会のために存在する家族から、
「家族」のために存在する社会へ

これまでの社会

家族を画一的な形に収めることによって
効率性を追求



社会制度を考える行政も
マーケティングを考える企業も
「夫婦+子供」という家族像を
基盤にしてきた

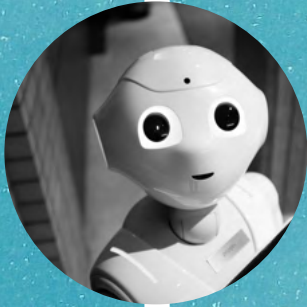
様々な家族の形に応じた
多様なサービスを提供することで、
ひとりひとりの幸福を最大化



テクノロジーや
制度のイノベーション、
地縁・血縁関係に代わる
新たな繋がりをつくることで、
より柔軟な「家族」の形を実現していく

これからの社会

これからの社会を実現するポイント



家族の負担を軽減させる
サービス・テクノロジーを拡充する



外部サービスを
罪悪感なく使える空気感を醸成する



友人や知人も巻き込んだ
なめらかに社会と繋がる家族像をつくる



このために何ができるかPMIの考えるPTCフレームワーク
(Policy, Tech, Culture)に沿って整理してみよう↓

TECH

POLICY

CULTURE

具体的にできること

(PMI主催ワークショップより)

- 留守番ロボットや遠隔見守りサービス
- 子育てシェアの普及、信頼・信用の可視化
- 介護ロボットの導入
- 介護者向けテクノロジーのテスト導入や支援制度
- 支援が必要な家族がつながる場づくり
- ベビーシッター研修の普及、資格制度
- 政府による要介護者の情報把握、許せるか
- ロボットによる介護の抵抗を軽減
- 新たな家族形態への理解

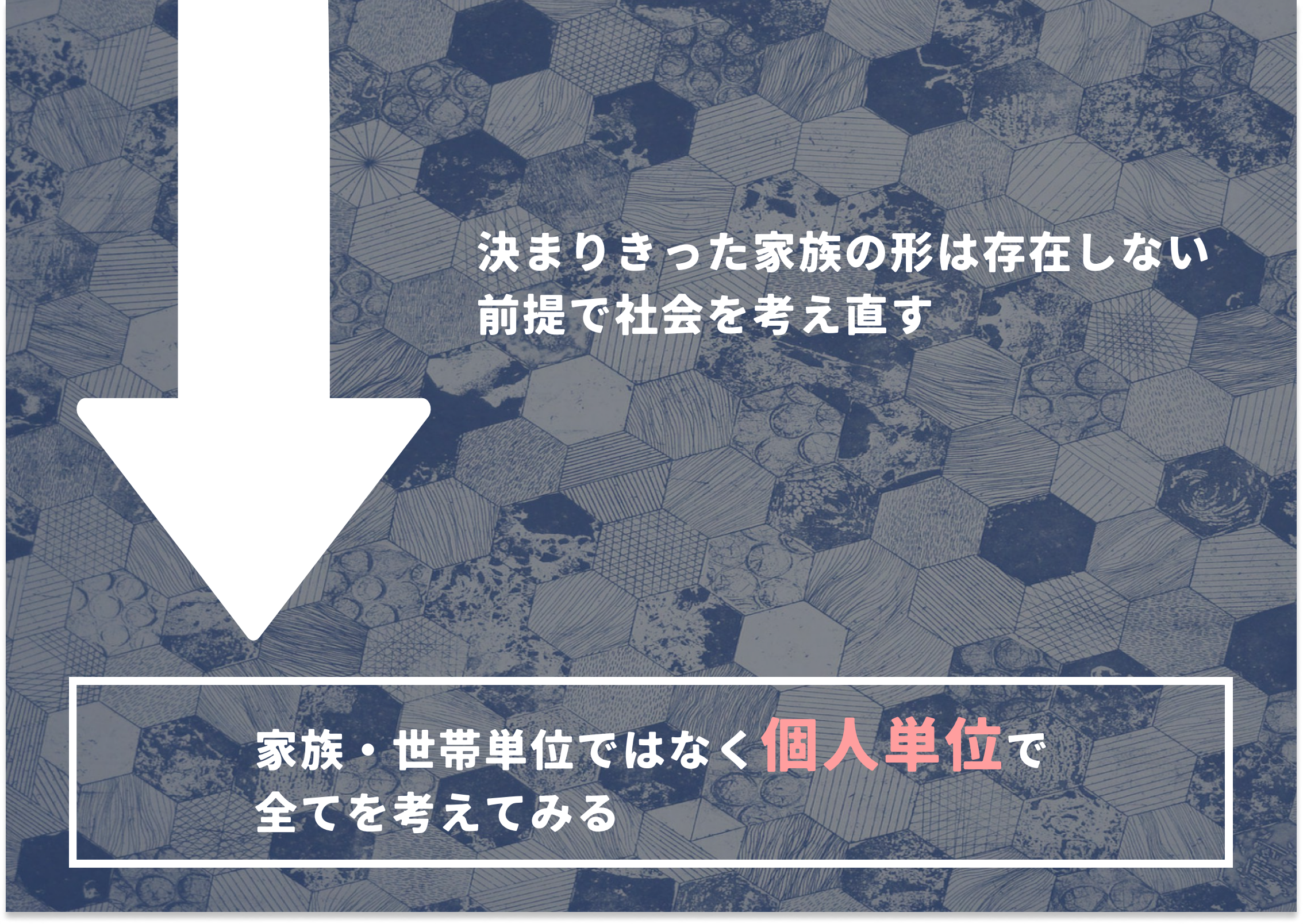


「普通の家族」という
スタンダードがない状態を
スタンダードに

スタンダードがない状態

伝統的な家族像でも、新しい家族像でも、
一人ひとりが自分にとって理想的な家族の形を
実現でき、その選択によって批判されたり不利
な扱いを受けたりすることがない状態





決まりきった家族の形は存在しない
前提で社会を考え直す

家族・世帯単位ではなく**個人単位**で
全てを考えてみる

POLICY IDEA

- 世帯要件、婚姻要件の見直し
- 性別によらない結婚制度の実現
- 公的サービスにおける婚姻要件の緩和
- シングルで育児を行う人への社会的支援の拡充
- 生殖医療に関する制度や補助の拡充
- デュアルスクール制度の普及
- リモートワーク促進のための支援

PMIは、次の50年の当事者であるミレニアル世代を中心とした
国家公務員、弁護士、ロビイストらが、各業界のイノベーターらと
協働し、社会のイノベーションを目指していく官民コミュニティ。

わたしたちにとってイノベーターとは、
専門分野や職種にかかわらず、
固定化された社会をアップデートしていこうと取り組む人。

Policy もTechもCultureも、
そのいずれが欠けても社会を前進させていくことが難しい。
だからこそ。

あなたの意見を聞かせてください。

Public Meets Innovation

イノベーションを、社会と接続する。

info@pmi.or.jp